

加古川南高で防災訓練 防災士会などが協力

加古川南高校（加古川市加古川町友沢）で、地域連携防災訓練があった。同市や県防災士会、地元町内会などが協力。生徒たちは垂直避難訓練の後、災害対応について学んだ。

南海トラフ巨大地震を想定し、3、4階へと垂直に避難。自動体外式除細動器（AED）や三角巾の使い方を教わり＝写真、木製ブロック「つみっく」を組み上げて屋内シェルターを作った。災害時の行動をイエスかノーで答えるゲ



ームでは「3千人が避難しているが非常食は2千食。配る？」などの質問に意見を出し合った。1年の今市瑞姫さん(16)は煙が充満したブースを進む体験に「誘導灯も見えなかった。万が一のときにこの経験を生かしたい」と話した。

（中川 恵）